

吉岡奨学金 マレーシア日本国際工科院 (MJIT)

2020年度 長期留学プログラム 募集要項

2019年12月16日

2020年1月21日更新

国際教育センター

本プログラムは、明治大学の協定校でもあるマレーシア工科大学 (University of Technology, Malaysia : UTM) 傘下のマレーシア日本国際工科院 (Malaysia-Japan International Institute of Technology: MJIT) に学生を派遣し、ASEANの工学教育の最先端を学び、アジアをリードする技術者・研究者を育成するプログラムである。長年マレーシアと協力関係を築いてきたローム・ワコー株式会社の吉岡洋介名誉会長からのご寄附により、派遣学生には、「奨学金 (現地生活費として20万円)」が支給される。希望者は、本募集要項、MJITホームページ等を熟読し、学内選考に応募すること。



【注意事項】 過年度と比較し、奨学金の内容が変更されているため注意すること。

- (1) 奨学金として支給されるもの：奨学金 (生活費として日本円で20万円)
- (2) 参加者が自己負担するもの：渡航費、住居費、現地生活費、本学指定の海外傷害保険料、現地登録料 等
※MJITの授業料は免除。

◆マレーシア日本国際工科院 (MJIT) について◆

MJITは、外務省の主導により、日本の工学教育の特徴を生かした教育・研究を実施する新たな国際工学教育拠点として、2011年9月に開校された。マレーシアの高等教育機関において高い技術と研究能力を備えた人材を養成し、国際競争力強化を図ることを目的としている。現在日本国内の27大学、2研究所がMJITコンソーシアム会員として協力し、学術交流や学生交流を行っている。

MJITホームページ： <http://mjiit.utm.my/>

1. 分野

- ① 電子システム工学 Department of Electronic Systems Engineering (ESE): <http://mjiit.utm.my/ese/>
- ② 機械精密工学 Department of Mechanical Precision Engineering (MPE): <http://mjiit.utm.my/mpe-2/>
- ③ 化学環境工学 Department of Chemical and Environmental Engineering (ChEE): ※ <http://mjiit.utm.my/cpe/>
- ④ 技術経営学 Department of Management of Technology (MOT)【大学院(修士課程・博士課程)のみ】: <http://mjiit.utm.my/mot/>

※従前の「化学プロセス工学 Department of Chemical Process Engineering (CPE)」と「環境グリーン技術工学 Department of Environmental Engineering and Green Technology (EGT)」は統合し、化学環境工学となった。

2. 言語

英語

3. 留学期間

原則2020年8月下旬～9月上旬から、1 学年間

(2021年6月下旬までの約10カ月間。学位取得を目的とした留学ではない)

※「1.3. 注意点 (よくある問い合わせ)」の「(3) 留学期間」を参照すること。

4. 派遣予定人数

1 名 (学部生もしくは大学院生1名)

5. 応募資格

以下**(1)～(8)全て**の条件を満たす者。

- (1) 本学に在籍している日本国籍の学部生・大学院生
 学部生：出願時1年次以上で、在学1学期につき卒業要件単位を15単位程度取得していること。1年生の志願者は、2019年度秋学期の成績が公開された時点で、卒業要件単位を30単位程度取得していること（応募時は取得見込み）。ゼミに配属されている場合は指導教員の許可を得ていること。その他例外がある場合は、学部と相談し認められた学生。
 大学院生：指導教員の許可を得ていること。
- (2) 原則としてGPA3.0以上が望ましい ※ これに満たない場合でも、やる気のある学生の応募は可能とする。
- (3) 英語能力試験において、TOEFL-iBT, TOEFL ITP, IELTS, TOEICのいずれかのスコア（2018年9月以降受験分）を所持している者
 ※スコアの条件はないが、MJITでは、Non Graduating Studentとして、現地学生とともに正規課程の授業や研究に参加する。このため、専門課程の基礎知識の他、英語で講義を聴いたり、専門書を読んだり、現地学生と意見交換ができる一定の英語力があることが望ましい。
- (4) 本プログラムでの留学経験がない者
- (5) 本プログラム参加後は、明治大学にて所属課程を修めること
- (6) 心身共に健康で、外国において長期にわたって生活をする上で問題が無いこと。持病や既往症のある者は、必ずかかりつけ医等の了承を得た上で、診断書を添付し応募すること。
- (7) 留学後における報告書提出等、奨学金受給に関わる義務を果たすことができる者。
- (8) 誓約書に記載されている事項に同意し、保証人（保護者）の同意を得られること。
 ※必ず事前に保証人（保護者）の同意を得た上で、学内選考に応募すること。

6. 応募受付期間

2020年1月8日（水）～ 2020年2月3日（月） ※延長しました（2020年1月21日）

※ 書類提出先の開室時間内に提出すること。

7. 応募書類提出場所

各キャンパスの「**国際教育事務室**」（※）または中野教育研究支援事務室（国際担当）の開室時間内

※ 学部・研究科事務室ではないため、注意すること。

8. 応募書類

- ・ 書類はすべて**A4サイズ**、**片面印刷**で揃えて提出すること。**表紙およびホチキス止めは不要**。
- ・ 自署欄以外はパソコンで作成すること（手書き不可）。自署欄は鉛筆・こすると消せるペンの使用不可。
- ・ 応募書類に不備があった場合、書類審査において減点または書類審査の段階で不採用となる可能性があるため、提出前に応募者の責任においてよく確認の上提出すること。

以下の書類①～⑥を揃え、指定の提出場所に提出すること。

提出書類		注意事項
①	吉岡奨学金マレーシア日本国際工科院留学プログラム志願書（所定様式）	・ 所定様式。片面印刷2枚以内。 ・ ゼミ配属が済んでいる学生は指導教員、未配属の場合はクラス担任のサイン必須。
②	吉岡奨学金マレーシア日本国際工科院留学プログラム誓約書（所定様式）	・ 所定様式。必ず記載内容を熟読の上、提出すること。 ・ 保証人（保護者）の直筆署名・捺印必須。必ず事前に留学について同意を得ること。
③	最新（2019年度春学期分まで）の成績通知表	・ Oh-o! Meijiポータルサイトから印刷したもの 。 ※ 証明書自動発行機で発行した成績証明書は不可。

④ 語学能力証明書（原本）のコピー	・ TOEFL-iBT, TOEFL ITP, IELTS, TOEICのいずれかの語学能力証明書（2018年9月以降受験分）のコピー。 ※TOEFL-iBTの場合のみ、原本のコピーが締切に間に合わない場合、My Home Pageで公開されるスコアレポートの提出も可能。原本を入手次第、原本のコピーを国際教育事務室へ提出すること。
⑤ 留学計画書（日本語）	・ 片面印刷 2 枚以内。 ・ 日本語で記述。1500字以上で作成のこと。 ・ 両端に1.5cm以上の余白を残し、文字のサイズは10.5ポイント以上。最後に総字数を明記すること。字数不足および総字数の記載のないものは書類不備となる。 ・ タイトルは「留学計画書」とし、必ず用紙右上に学部／研究科・学年・氏名を記載すること。
⑥ 留学計画書（英語）	・ 片面印刷 2 枚以内。 ・ 英語で記述。800～1000 words程度で作成のこと。 ・ 両端に1.5cm以上の余白を残し、文字のサイズは10.5ポイント以上。最後に総word数を明記すること。<u>word数不足およびword数の記載のないものは書類不備となる。</u> ・ タイトルはStudy Planとし、必ず用紙右上に学部／研究科・学年・氏名を記載すること。

※ 留学計画書を作成する際は、以下のポイントを含めて作成し、誤字・脱字等がないように注意すること。

- ・ なぜMJIIT／マレーシアで勉強・研究をしたいか
- ・ MJIIT／マレーシアで勉強・研究したい内容について
- ・ 勉強・研究以外にマレーシア留学において得たいこと、体験したいこと
- ・ 帰国後は、どのように勉強・研究成果を活かしていきたいか

9. 留学の費用

奨学金については、下記のとおりを予定（予算等の事情により、予告なく変更となる可能性がある）。

派遣学生は、奨学金受給者の義務として、報告書の提出が必須となるため、留学後も必ず明治大学とメールで連絡が取れる状態にしておくこと。提出書類の不備や学業不振等が発覚した場合は、奨学金の返還を求める場合がある。

(1) 奨学金：200,000円（生活費として）を学生指定の口座へ一律支給予定。

※上記以外の費用（渡航費、宿舍費、UTM申請費用、パスポート申請費用、査証取得に関わる費用、明治大学指定の海外旅行傷害保険の加入等）は学生本人が負担。

※MJIITでの授業料は**免除**となります。

※ 留学中の明治大学学費（休学せず、認定留学*とする場合）または在籍料（休学する場合）は学生本人が負担。

*MJIITにて正規授業科目の履修を希望し、所属学部・研究科での単位認定を希望する場合は、認定留学となり、留学期間中も明治大学の学費を負担するほか、所属学部・研究科で別途手続きが必要となる。

※ **本プログラムは「明治大学外国留学奨励助成金」対象外のため、申請不可。**

10. 選考について

書類審査（志願書、留学計画書）、面接審査及び堀江正彦学長特任補佐の面談を要素として総合的に判断し、より総合力の高いと判断された学生を派遣候補生として選出する。可否結果、選考内容に関する問い合わせには一切応じない。なお、学内選考の合格は、MJIITの受入を保証するものではない。

11. 応募書類提出後の流れ

諸事情により日程が変更になる可能性あり。日程が変更となった場合は該当学生宛に通知する。

(1) 書類審査

2020年1月中旬までに、全応募者にOh-o!Meijiで結果通知

(2) 面接審査

2020年1月下旬に実施予定

※ 集合時間や場所の詳細については書類審査合格者にOh-o! Meijiで結果通知

(3) 学内選考結果通知

2020年2月上旬までに、全面接審査参加者にOh-o! Meijiで結果通知

12. 学内選考合格後の流れ

2020年4月中旬まで	MJIITへの出願準備・出願 ※学内選考応募書類とは別途、MJITへの出願書類の準備が必要
2020年6月～7月	入学許可証の受領 ビザ申請、渡航準備（航空券手配等） 学部・研究科事務室への留学願または休学願の提出
2020年6月末予定	渡航前オリエンテーションへの参加
2020年8月下旬～9月上旬	出発

13. 応募についての注意点（よくある問い合わせ）

(1) マレーシア日本国際工科院（MJIT）の情報について

最新情報（シラバス等）はMJITのホームページで確認できる。学内選考応募にあたり、MJITやマレーシアの情報についてあらかじめ自分で調べ、理解を深めること。また、明治大学ホームページに掲載している過年度の参加報告書も参考にすること。

(2) 現地で開講されている専攻／授業について

参加希望者は予め志望分野のホームページを確認し、勉強、研究したい内容等について考えてください。

【分野】※「1. 分野」より再掲。

Department of Electronic Systems Engineering (ESE): <http://mjiit.utm.my/ese/>

Department of Mechanical Precision Engineering (MPE) <http://mjiit.utm.my/mpe-2/>

Department of Chemical and Environmental Engineering(ChEE) <http://mjiit.utm.my/cpe/>

Department of Management of Technology (MOT) <http://mjiit.utm.my/mot/>

(3) MJITで修得した単位の単位認定について

正規生として授業登録するには、MJITに照会する必要がある。目安となる語学力はTOEFL-iBT61点またはIELTS6.0点以上。語学力が条件に満たない場合、またMJITが認めない場合は、授業登録並びに単位修得ができない。授業登録を希望する応募者は、事前に国際教育事務室に相談すること。

MJITで授業登録が認められ、単位修得出来た場合でも、MJITで取得した単位は自動的に明治大学の単位として認定されるものではない。MJITで取得した単位がどれだけ明治大学の単位として認定されるかは、所属学部・研究科の判断に委ねられている。所定の修業期間で卒業／修了できる保証はできないため、留学計画についてあらかじめ指導教員、所属学部・研究科の事務室でよく相談をすること（相談の際は、MJITの履修計画書を作成し、相談すること）。

(4) 学内選考について

学内選考の合格は派遣候補生を選出することが目的であり、明治大学からの推薦はMJITからの受入許可を保証するものではないため注意すること。

(5) 学内選考後の辞退について

学内選考合格後（派遣候補生として決定後）は辞退することは認められない。留学に必要な準備、経費、またリスク等をあらかじめ把握し、不安な点は解消してから応募すること。また、保証人（保護者）や指導教員の同意は応募前に必ず得るようにすること。

(6) 留学期間の終了日について

プログラム（期末試験）終了後、1カ月以内に帰国すること。

(7) 奨学金について

奨学金の支給については、下記のとおり予定（事情により、予告なく変更となる可能性がある）。なお、派遣学生は、奨学金の受給に際し、報告書の提出および修了書のコピーの提出が必須となるため、必ず留学後も明治大学とメールで連絡が取れる状態にしておくこと。提出書類の不備や学業不振等が発覚した場合は、奨学金の返還を求める場合があるため、注意すること。

- ・ 奨学金：200,000円を学生指定の口座へ一律支給予定。
※上記支給額や支給方法は予算等に応じて変動する可能性がある。

(8) 明治大学指定海外旅行保険への加入について

本学の危機管理上、留学期間をカバーする明治大学指定の海外旅行保険に必ず加入すること。渡航前に帰国時期を検討の上、海外旅行保険に加入手続きを行う。万一、帰国日が海外旅行保険期間外に変更になった場合は、日本在住の家族にお願いし、必ず延長の手続きを行うこと。

(9) 留学先での住居について

留学先での住居は、原則としてMJIT(UTM)の宿泊施設（BATC）もしくは近隣の学生寮に滞在する。

(10) MJITへの出願準備について

学内選考合格後はMJITへの出願に必要な書類を各自で準備し、明治大学を通して出願する。出願後は各自でMJITとやり取りをし、留学準備（履修準備や指導教員との協議）を行うこと。

(11) 留学のためのビザについて

査証（ビザ）取得に必要な情報の確認、申請等諸手続きについては、応募者自身の責任において進めること。入学許可書受領後、在日の各国大使館・総領事館にて手続きが可能となる。

留学は、出発前の手続きや準備から始まっている。留学先で問題が発生した際の自己解決能力を高めるためにも、自分自身でインターネット、書籍等により情報収集する習慣を身に付けること。また、留学においては、周囲の人と協力関係を築いて物事を進める能力も重要となる。「聞いていない」、「知らなかった」ということがないよう、不明な点は指導教員、国際教育事務室、所属学部・研究科事務室、その他関係部署と相談をしながら進めること。留学は誰かのためではなく、自分のために選んだ道であるということを、学内選考応募時から念頭に置いて応募すること。

14. 問合せ先

■ 明治大学 国際教育事務室【駿河台】

開室時間： 平日 9:00-11:30, 12:30-17:00 土曜：9:00 - 12:30

電話番号： 03-3296-4487

メールアドレス： kokusaik@meiji.ac.jp

※ 日曜・祝日（休日授業実施日は除く）は閉室。

※ 夏季・冬季休業期間は、開室時間が異なるため注意すること。

※ 問い合わせの際は、必ず所属学部・学年・氏名を申し出ること。また、件名や送信元が不明な問い合わせには応じることができないため注意すること。

以上